

入場無料
(当日参加可)

第12回 海辺の杜ホスピタル地域医療連携講演会

「心の働きから

認知症を考えしてみる」



公立大学法人 和歌山県立医科大学
神経内科
認知症疾患医療センター

廣西 昌也 先生

経歴

和歌山県立医科大学 神経内科 講師

専門分野: 神経内科疾患

所属学会: 日本神経学会(指導医、専門医)

日本内科学会(認定内科医)

日本認知症学会(指導医、専門医)

落語家 芸名: 大川亭可流亭(おおかわてい・かるて)

受賞歴 2006年 第5回歌葉新人賞

著賞 2012年 歌集「神倉」(書肆侃侃房)



アルツハイマー病の症状として記憶障害が有名です。しかしながら物ごとの段取りが悪くなる、ことばの能力が低下する、やる気がなくなる、他人とのつきあいがうまくいなくなる、道具が使いにくくなるなどの症状も出現します。認知症(神経認知障害)はこれらの症状が組み合わさっておこってくる状態です。

認知症を持った方の生活の中では、これらの障害が生活障害に直結しています。そのため、いろいろな脳の働きを理解しておくことが、家族、医療スタッフ、介護スタッフにとってたいへん役に立ちますし、また生活障害への対策を立てやすくなります。

かつては単に「ぼけ」と言われていた病気が、複雑な脳の症状の組み合わせにより生じているということを知ることで、実際に患者さんを介護・サポートしていく上でお役に立てば幸いです。

日時

平成29年

5月13日(土)

14:00~16:00

開場 13:30 講演会 14:00~16:00

場所

高知会館 高知市本町5丁目6-42

お問い合わせ先

(医)精華園 海辺の杜ホスピタル 管理部 橋田

TEL088-841-2288

■主催: (医)精華園 海辺の杜ホスピタル